

01

12月2023

クリスマスのお便りの中から “KIND(やさしさ)”という題のエッセー

by NCM2 CHOIR

全4page



米国ではクリスマスカードが日本の年賀状にとって代わっています。昨今は皆さん家族の写真でカードを作成するのがほとんどです。スマホからの写真で簡単にカードができます。何も書かないでもその写真カードを見ればその家族のことがすべてわかるような状態です。

毎年知人達のカードが楽しみです、その中に珍しく、写真ではない良いエッセーがありました。差出人は私の親友、渡辺美奈子さんからでした。本人の許可を得ましたので、そのエッセーをここに掲載させていただきます。

“その人とは強羅の温泉宿のエレベーターの中で会った。一緒にエレベーターに乗ってきたのが外人だったので、夫が「ハロー」だけではなく、「How are you ?」と英語で挨拶をした。その短い言葉はネイティブ英語そのもの。夫は日系三世、もちろん英語圏の人である。その人は驚いた。「オー貴方は英語を話すのですね？」そばにいたおしゃべりな妻の私がすかさず答えた。「それはそうですよ、この人は日系三世ですから」何気なく言った短い会話のはずだった。

ところが“日系”という言葉を引きいてその人はまるで大きな石でも持ち上げるように動いた。「エッ！日系！私は日系二世の人たちがいなかったら、今存在していません。」何、何、何？ どういうこと？？？ 温厚そうなその人は言葉の一つひとつを噛みしめるように語りだした。

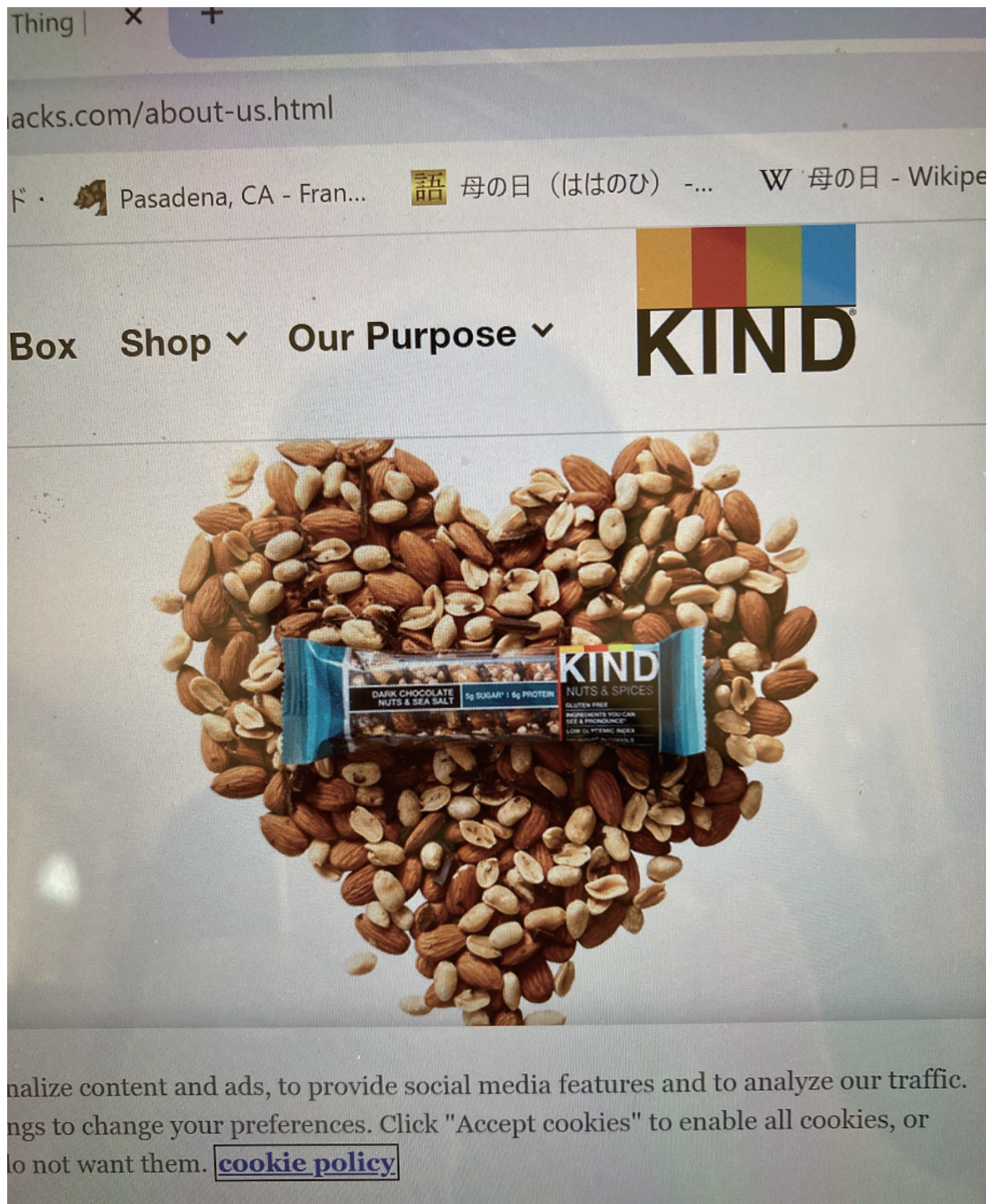
「私の父はユダヤ人収容所の生存者です。第二次世界大戦で二世部隊が収容所にいた父を解放してくれることがなかったら、今の私はいません。」

そしてその人は夫の父親が二世部隊にいたこと、ヨーロッパ戦線で戦ったことを知って、もう感謝の気持ちがはちきれんばかりに夫の手を握り、次のように自己紹介をした。

「私はお菓子の会社を始めた者です。ぜひ、あなたに自分の会社の商品を送りたい」と。それから、私達の住所を引きいて、何度もお辞儀をしてエレベーターを出て行った。何かが送られてくる、否、口だけだろうと。まるで、キツネにつままれたような気持ちで部屋に戻った。

アメリカに帰国後、その人について信じられないような情報があきらかになった。彼の名前は米国でも有名なお菓子会社、KIND コポレーションの創立者、ダニエル・ルベルツキー。ミリオネアよりまた千倍のお金持ちのビリオネアー。著書もあり、慈善事業家でもある。

そんな時、彼がテレビに出演していると知り、チャンネルを合わせた。居た、居た。温泉宿で出会った、その人、ダニエルだ。あの浴衣を着ていた時と同じ優しい気な風貌と謙遜な態度。



数週間後、一つの箱が届けられた。Kind のチョコレートが4種類、1 ダースずつ48個も。ダニエルはきちんと自分の言葉を守った。私は改めて彼との出会いを今年のハイライトと決めた。謙遜な男が一番カッコ良い。威張らず、誰にも思いやりがあり、自分を低くする自然な態度。ユダヤ人でありながら、パレスチナ問題解決にも参加している。

今のイスラエルとハマスの戦争をダニエルが一番悲しんでいるような気がした。
やさしさで世界を包もう。ウクライナ、イスラエルでの戦争が一日も早く終結するように。

今年のクリスマスは平和の君と詠われた主イエスを特に思うクリスマスとしたい。

渡辺美奈子 “

註；ダニエル・ルベルキー氏については下記をご覧ください。世界を
Kind（やさしさ）で、というモットーをもって事業を進めている。

<https://www.kindsnacks.com/about-us.html> (Kind 公式サイト)

註；渡辺美奈子氏

<https://www.supermath.com/> (supermath 公式サイト)

<https://mujika.us/second-chance/> (ブログ「愛のひとさじ」)

カリフォルニアベイエリアにて1979年にアメリカの子供にも暗算をと
そろばん式暗算教室スーパーマスを設立。



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

メール oriochurch@outlook.jp

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00) URL <http://www.oriocristianchurch.net>